北海道真駒内養護学校

令和元年度　実践研究

【研究主題】

１年目／２カ年計画

根拠のある学習評価を目指して

～日々の授業と教育課程の改善をつなげるための仕組みをつくる～

【各教科の指導すべき内容】

教科グループごとに研修を進める

A　学習内容構成表の作成

学習指導要領

B　教科の内容の発展・関連図の作成

小学部１段階
～中学部２段階の整理

中間報告

最終報告

C　指導すべき内容の整理

現在ある年間指導計画のチェック

学部をこえた系統性

個別の指導計画の目標設定
年間指導計画の見直し

【各教科の指導すべき内容】

●指導すべき内容
※知的小1段階～3段階、中1段階～2段階　系統性
※音楽、図工・美術、体育、生活、理科、社会、国語、算数・数学、高等部合わせた指導【生活単元学習】

- **学習指導要領を読む機会となった。（現在元年度の年計をもとに検証）**
- **学習グループが同じであっても、児童生徒の実態に応じて目標が異なることを押さえた。**

★２年度の年計に反映させるものにならなかった。

【各教科の指導すべき内容】

Ａ　学習内容構成表

Ｂ　教科の内容の発展・関連図

学習指導要領

小学部１段階
～中学部２段階の整理

活用

Ｃ　指導すべき内容

現在ある年間指導計画のチェック

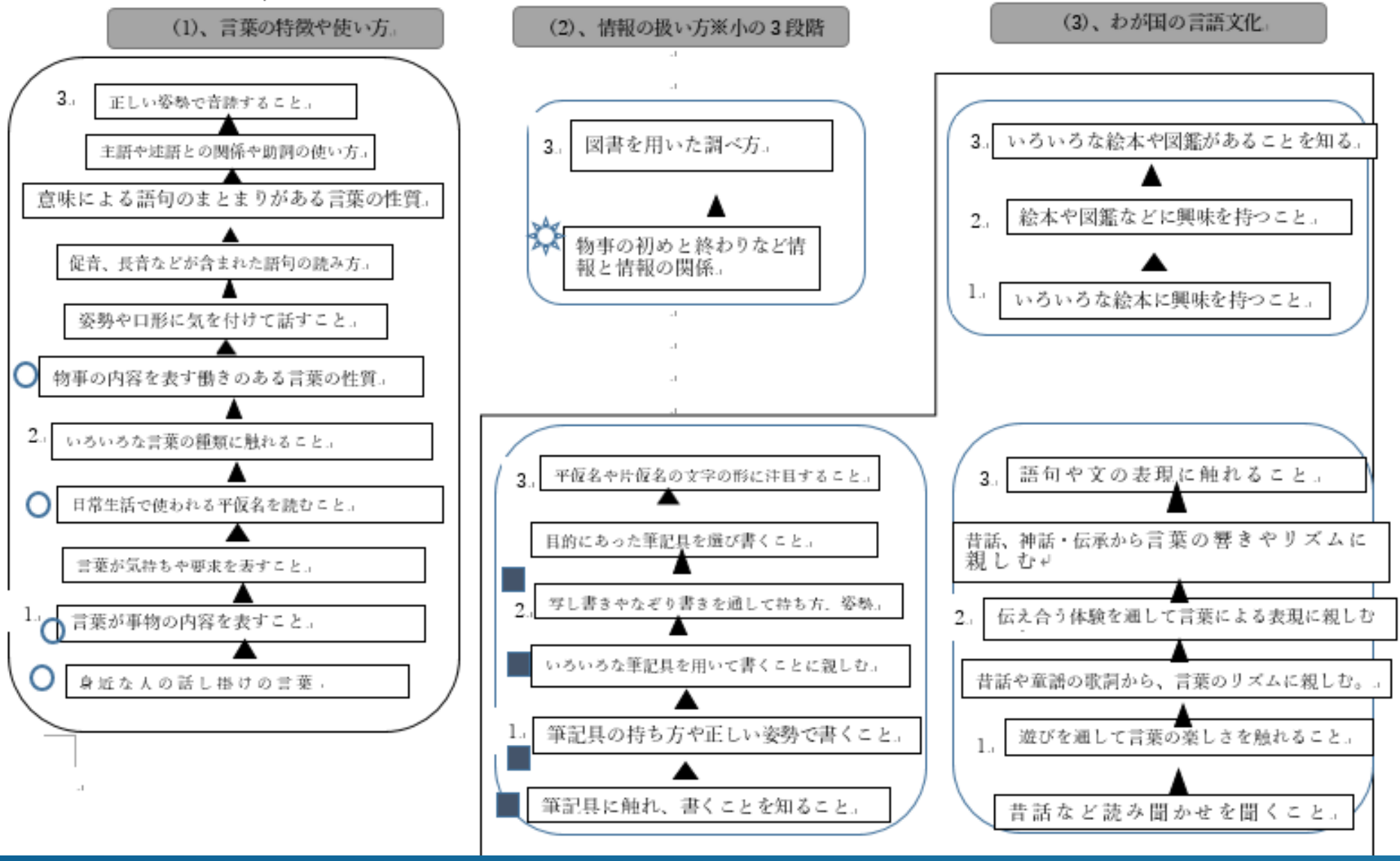
参考

教科の内容の発展関連図

国語科

【知識及び技能】

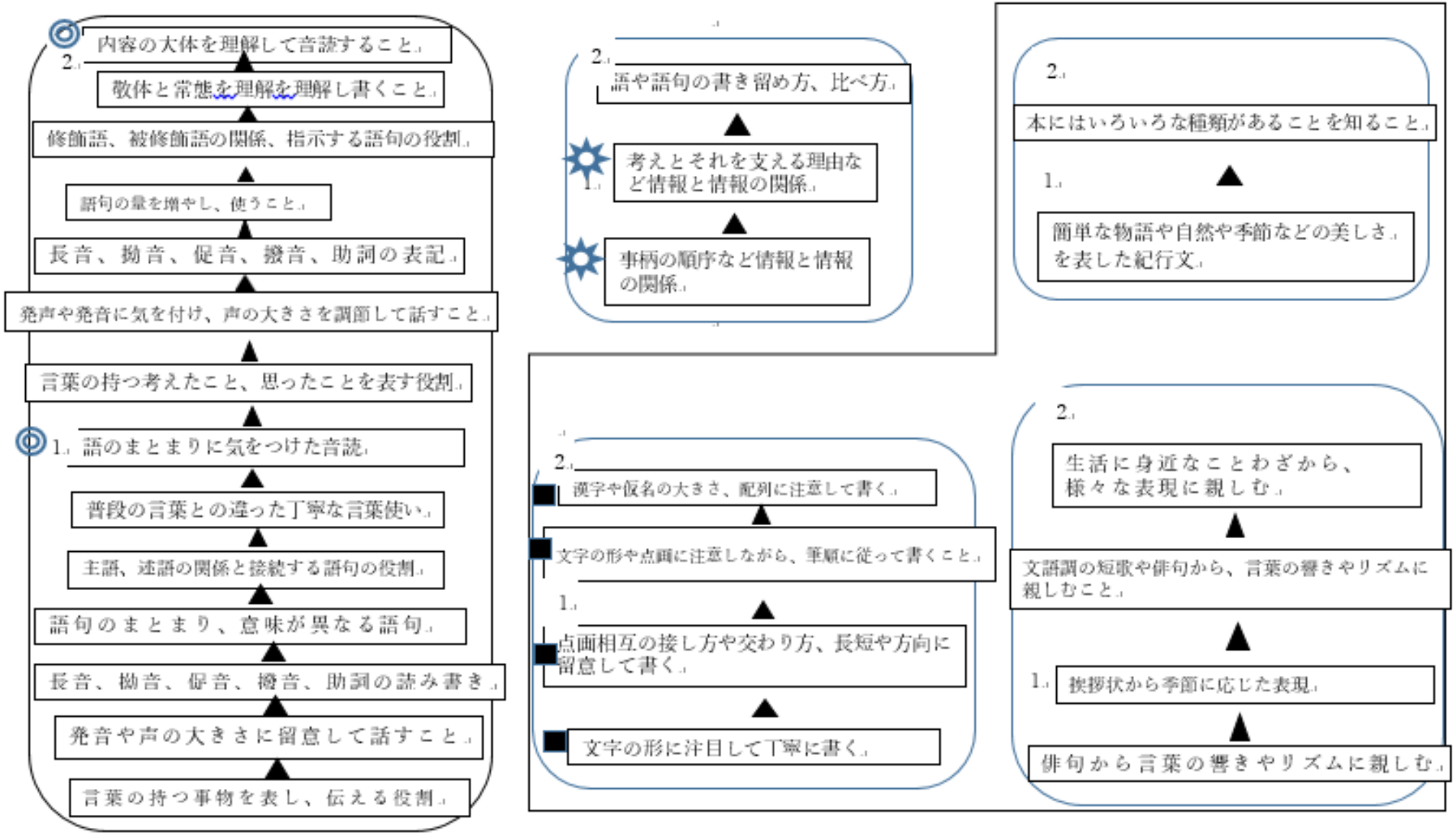
「国語科」の「知識及び技能」と「思考力・表現力・判断力」の内容に着目した発展・関連(小)



国語科

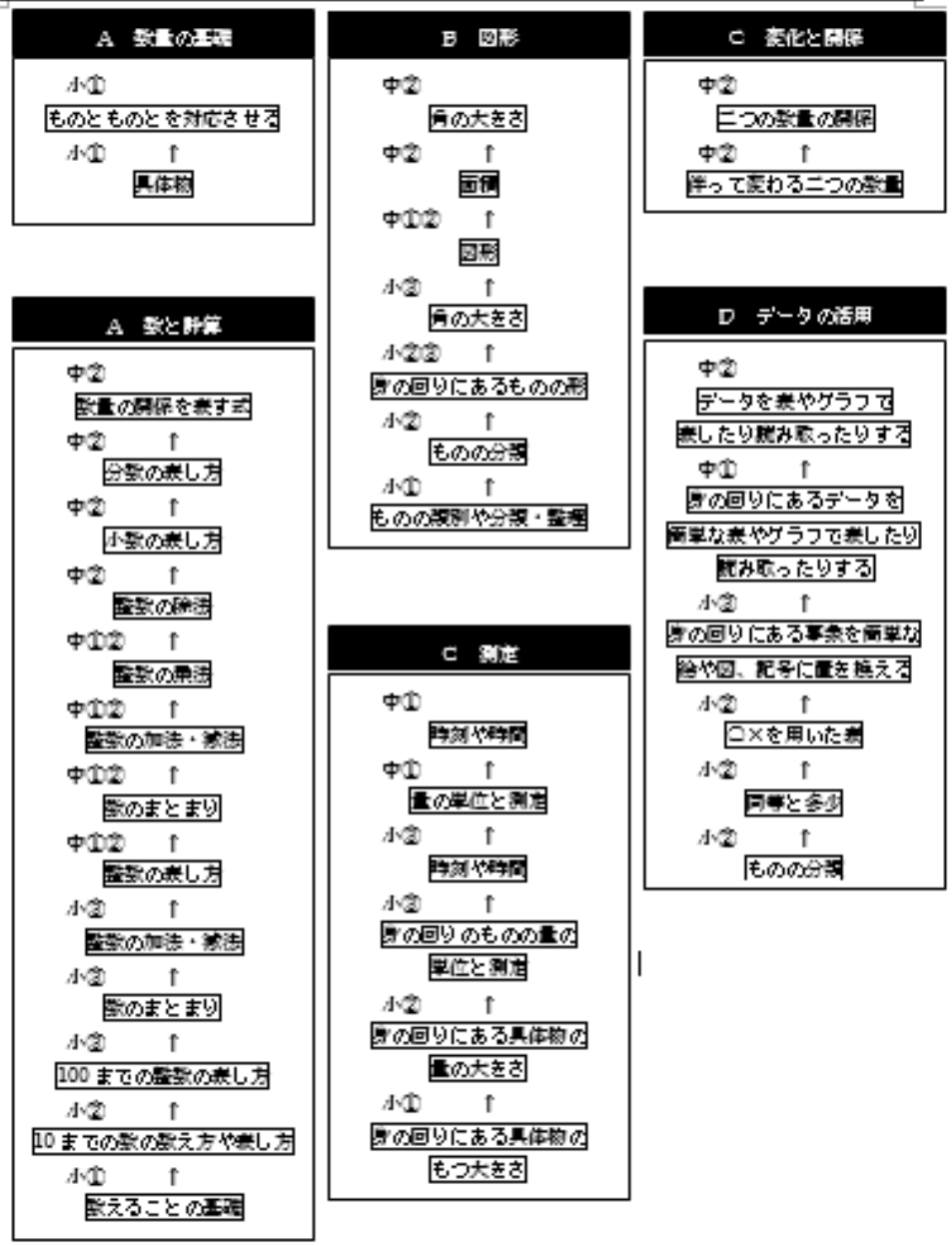
【知識及び技能】

「国語科」の「知識及び技能」と「思考力・表現力・判断力」の内容に着目した発展・関連(中)

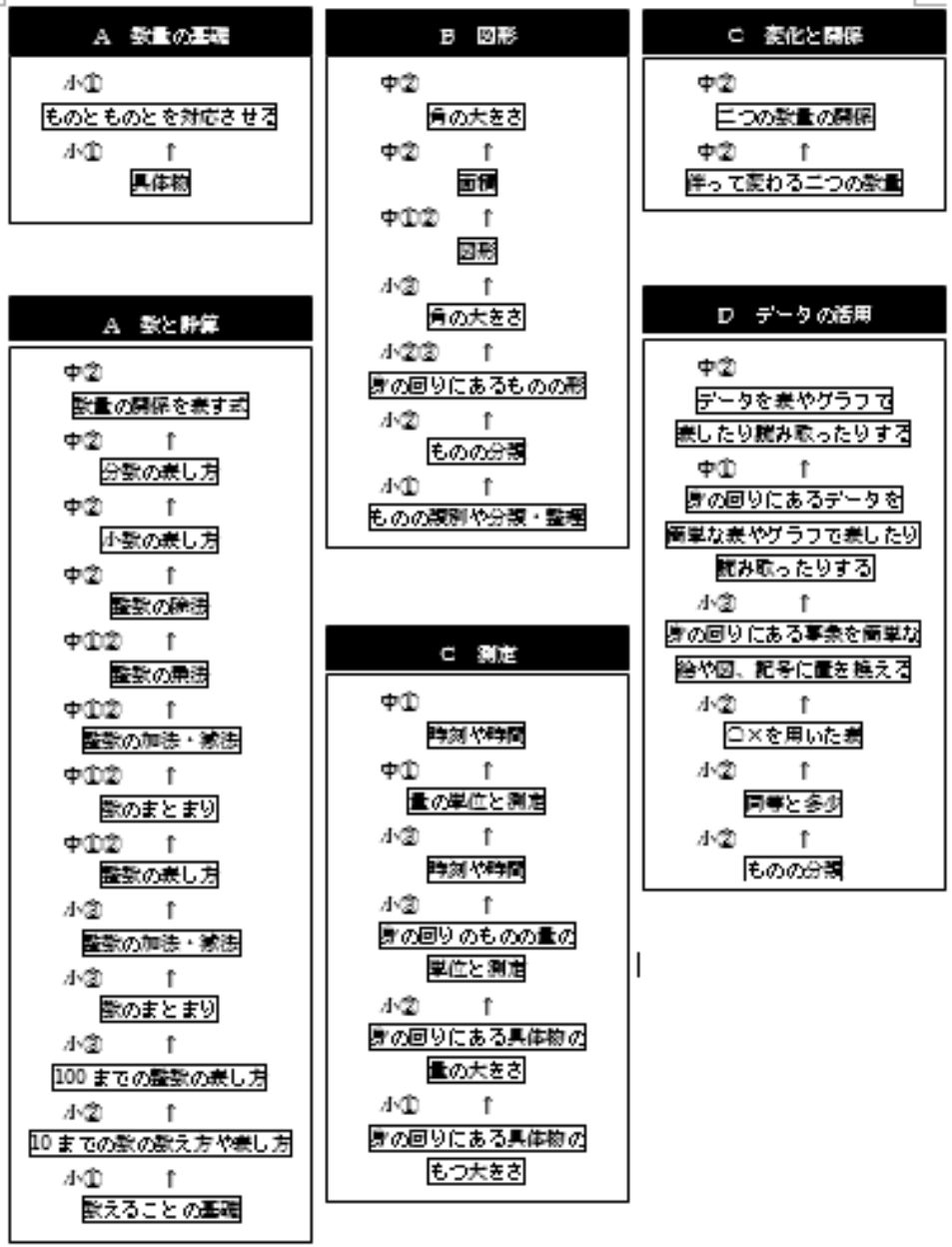


算数・数学科

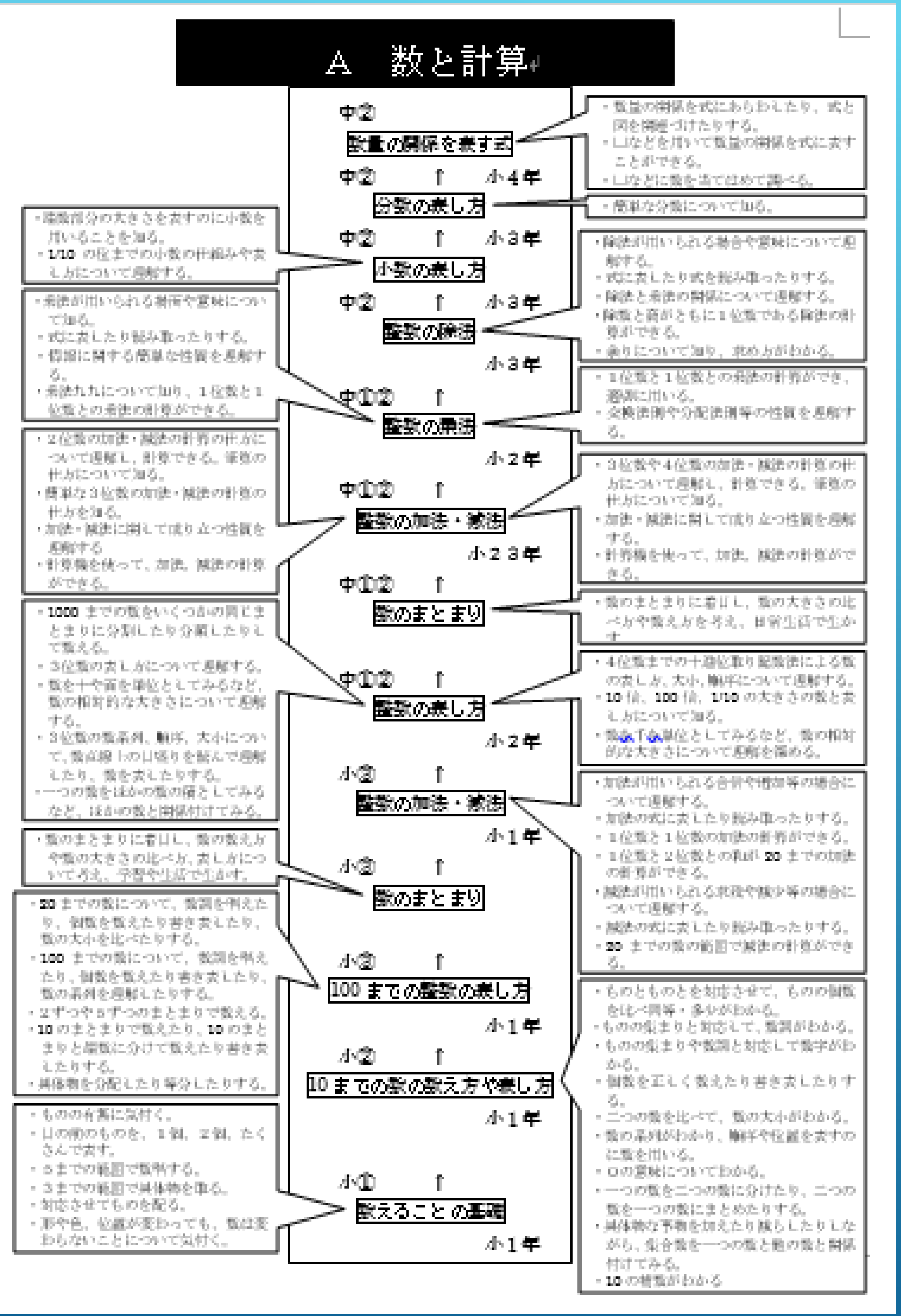
「算数・数学科」の「知識及び技能」と「思考力・表現力・判断力」の内容に着目した発展・関連

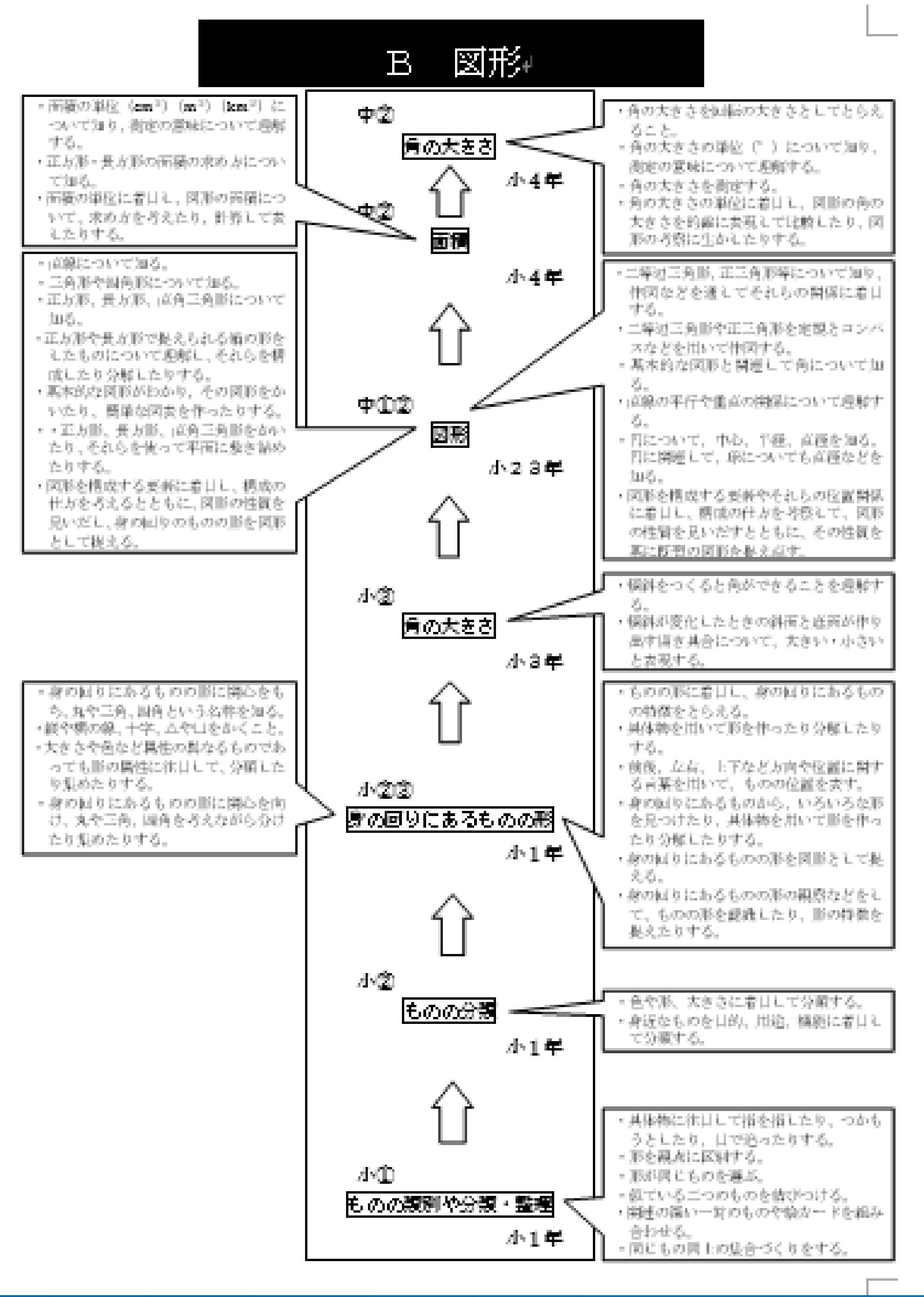


「算数・数学科」の「知識及び技能」と「思考力・表現力・判断力」の内容に着目した発展・関連



算数・数学科


A　数と計算
中②
数量の関係を表す式
・数量の関係を式にあらわしたり，式と図を関連づけたりする。
・□などを用いて数量の関係を式に表すことができる。
・□などに数を当てはめて調べる。
中②　小４年
分数の表し方
・簡単な分数について知る。
中②　小３年
小数の表し方
・端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを知る。
・1/10 の位までの小数の仕組みや表し方について理解する。
中②　小３年
整数の除法
・除法が用いられる場合や意味について理解する。
・式に表したり式を読み取ったりする。
・除法と乗法の関係について理解する。
・除数と商がともに１位数である除法の計算ができる。
・余りについて知り，求め方がわかる。
小３年
中①②
整数の乗法
・乗法が用いられる場面や意味について知る。
・式に表したり読み取ったりする。
・乗法九九について知り，１位数と１位数との乗法の計算ができる。
・１位数と１位数との乗法の計算ができ，適切に用いる。
・交換法則や分配法則等の性質を理解する。
小２年
中①②
整数の加法・減法
・２位数の加法・減法の計算の仕方について理解し，計算できる。筆算の仕方について知る。
・簡単な３位数の加法・減法の計算の仕方を知る。
・加法・減法に関して成り立つ性質を理解する
・計算機を使って，加法，減法の計算ができる。
・３位数や４位数の加法・減法の計算の仕方について理解し，計算できる。筆算の仕方について知る。
・加法・減法に関して成り立つ性質を理解する。
・計算機を使って，加法，減法の計算ができる。
小２３年
中①②
数のまとまり
・数のまとまりに着目し，数の大きさの比べ方や数え方を考え，日常生活で生かす
中①②
整数の表し方
・1000 までの数をいくつかの同じまとまりに分割したり分解したりして数える。
・３位数の表し方について理解する。
・数を十や百を単位としてみるなど，数の相対的な大きさについて理解する。
・３位数の数系列，順序，大小について，数直線上の目盛りを読んで理解したり，数を表したりする。
・一つの数をほかの数の積としてみるなど，ほかの数と関係付けてみる。
・４位数までの十進位取り記数法による数の表し方，大小，順序について理解する。
・10 倍，100 倍，1/10 の大きさの数と表し方について知る。
小２年
小②
整数の加法・減法
・加法が用いられる合併や増加等の場合について理解する。
・加法の式に表したり読み取ったりする。
・１位数と１位数の加法の計算ができる。
・１位数と２位数との和が 20 までの加法の計算ができる。
・減法が用いられる求残や減少等の場合について理解する。
・減法の式に表したり読み取ったりする。
・20 までの数の範囲で減法の計算ができる。
小１年
小②
数のまとまり
・数のまとまりに着目し，数の数え方や数の大きさの比べ方，表し方について考え，学習や生活で生かす。
小②
100 までの整数の表し方
・20 までの数について，数詞を唱えたり，個数を数えたり書き表したり，数の大小を比べたりする。
・100 までの数について，数詞を唱えたり，個数を数えたり書き表したり，数の系列を理解したりする。
・２ずつや５ずつのまとまりで数える。
・10 のまとまりで数えたり，10 のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりする。
・具体物を分配したり等分したりする。
小１年
小②
10 までの数の数え方や表し方
・ものとものとを対応させて，ものの個数を比べ同等・多少がわかる。
・ものの集まりと対応して，数詞がわかる。
・ものの集まりや数詞と対応して数字がわかる。
・個数を正しく数えたり書き表したりする。
・二つの数を比べて，数の大小がわかる。
・数の系列がわかり，順序や位置を表すのに数を用いる。
・０の意味についてわかる。
・一つの数を二つの数に分けたり，二つの数を一つの数にまとめたりする。
・具体的な事物を加えたり減らしたりしながら，集合数を一つの数と他の数と関係付けてみる。
・10 の補数がわかる
小１年
小①
数えることの基礎
・ものの有無に気付く。
・目の前のものを，１個，２個，たくさんで表す。
・５までの範囲で数唱する。
・３までの範囲で具体物を取る。
・対応させてものを配る。
・形や色，位置が変わっても，数は変わらないことについて気付く。
小１年


B　図形
中②
角の大きさ
・角の大きさを回転の大きさとしてとらえること。
・角の大きさの単位（°）について知り，測定の意味について理解する。
・角の大きさを測定する。
・角の大きさの単位に着目し，図形の角の大きさを的確に表現して比較したり，図形の考察に生かしたりする。
小４年
中②
面積
・面積の単位（cm²）（m²）（km²）について知り，測定の意味について理解する。
・正方形・長方形の面積の求め方について知る。
・面積の単位に着目し，図形の面積について，求め方を考えたり，計算して表したりする。
小４年
中①②
図形
・直線について知る。
・三角形や四角形について知る。
・正方形，長方形，直角三角形について知る。
・正方形や長方形で捉えられる箱の形をしたものについて理解し，それらを構成したり分解したりする。
・基本的な図形がわかり，その図形をかいたり，簡単な図表を作ったりする。
・二等辺三角形，正三角形等について知り，作図などを通してそれらの関係に着目する。
・二等辺三角形や正三角形を定規とコンパスなどを用いて作図する。
・基本的な図形と関連して角について知る。
・直線の平行や垂直の関係について理解する。
・円について，中心，半径，直径を知る。
小２３年
小②
角の大きさ
・傾斜をつくると角ができることを理解する。
・傾斜が変化したときの斜面と底面が作り出す開き具合について，大きい・小さいと表現する。
小３年
小②③
身の回りにあるものの形
・身の回りにあるものの形に関心をもち，丸や三角，四角という名称を知る。
・大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して，分類したり集めたりする。
・ものの形に着目し，身の回りにあるものの特徴をとらえる。
・具体物を用いて形を作ったり分解したりする。
・前後，左右，上下など方向や位置に関する言葉を用いて，ものの位置を表す。
・身の回りにあるものの形を図形として捉える。
小１年
小②
ものの分類
・色や形，大きさに着目して分類する。
・身近なものを目的，用途，機能に着目して分類する。
小１年
小①
ものの類別や分類・整理
・具体物に注目して指を指したり，つかもうとしたり，目で追ったりする。
・形を観点に区別する。
・形が同じものを選ぶ。
・似ている二つのものを結びつける。
・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。
・同じもの同士の組合せづくりをする。
小１年

算数・数学科

C　測定

中①
時刻や時間
小３年

- 時間の単位（秒）について知る。
- 日常生活に必要な時刻や時間を求める。
- 時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かす。

中①
量の単位と測定
小２・３年

- 目盛りの読み方を対象の端に当てて測定する。
- 長さの単位（mm）、（cm）、（m）、（km）や重さの単位（g）、（kg）について知り、測定の意味を理解する。
- かさの単位（mL）、（dL）、（L）について知り、測定の意味を理解する。
- 長さ、重さ、[illegible]について、おおよその見当を付け、単位を選択したり、計器を用いて測定したりする。
- 身の回りのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で量の大きさを表現したり比べたりする。

小②
時刻や時間
小２年

- 日常生活の中で時刻を読む
- 時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解する。
- 時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて〉表現する。

小②
身の回りのものの量の
単位と測定
小１年

- 長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較する。
- 身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較する。
- 身の回りのものの長さ、広さ、[illegible]いて、その単位に着目して大小を比較したり表現したりする。

小②
身の回りにある具体物の
量の大きさ
小１年

- 長さ、重さ、高さ、広さなどの量の大きさがわかる。
- 二つの量の大きさについて、一方を基準にして順序的に比べる。
- 長い、短い、重い、軽い、高い、低い、広い、狭いなどの用語がわかる。
- 長さ、重さ、高さ、広さ等の量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりする。

小①
身の回りにある具体物の
もつ大きさ

- 大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。
- ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に着目して表現する。
- 大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に着目して表現する。

C　変化と関係

中②
二つの数量の関係
小４年

- 簡単な場合について、ある一つの数量の関係と別の一つの数量とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知る。
- 日常生活における数量の関係に着目し、関数を用いて、一つの数量の関係を考察する。

中②
伴って変わる二つの数量
小４年

- 変化の様子を表や式を用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりする。
- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化の特徴を考察する。

D　データの活用

中②
データを表やグラフで
表したり読み取ったりする
小３・４年

- データを目的や活用などの観点から分類、整理し、表や棒グラフで表したり、読んだりする。
- データを二つの観点から分類、整理し、折れ線グラフで表したり、読み取ったりする。
- 表や棒グラフ、折れ線グラフの意味やその良さを理解する。
- 身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、表や棒グラフを用いながら、読み取ったり考察したり結論を表現したりする。
- 目的に応じてデータを集めて分類、整理し、データの特徴を見つけて、適切なグラフを用いて表現したり、考察したりする。

中①
身の回りにあるデータを
簡単な表やグラフで表したり
読み取ったりする
小２年

- 身の回りにある数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりする。
- 身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながら、読み取ったり考察したりする。

小③
身の回りにある事象を簡単な
絵や図、記号に置き換える
小２年

- ものとものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりする。
- 身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取る。
- 個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて表現する。

小②
○×を用いた表
小１年

- 身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成する。
- 簡単な表で使用する○×の記号の意味がわかる。
- 身の回りの結果等を表す、○×を用いた簡単な表で表現する。

小②
絵と多少
小１年

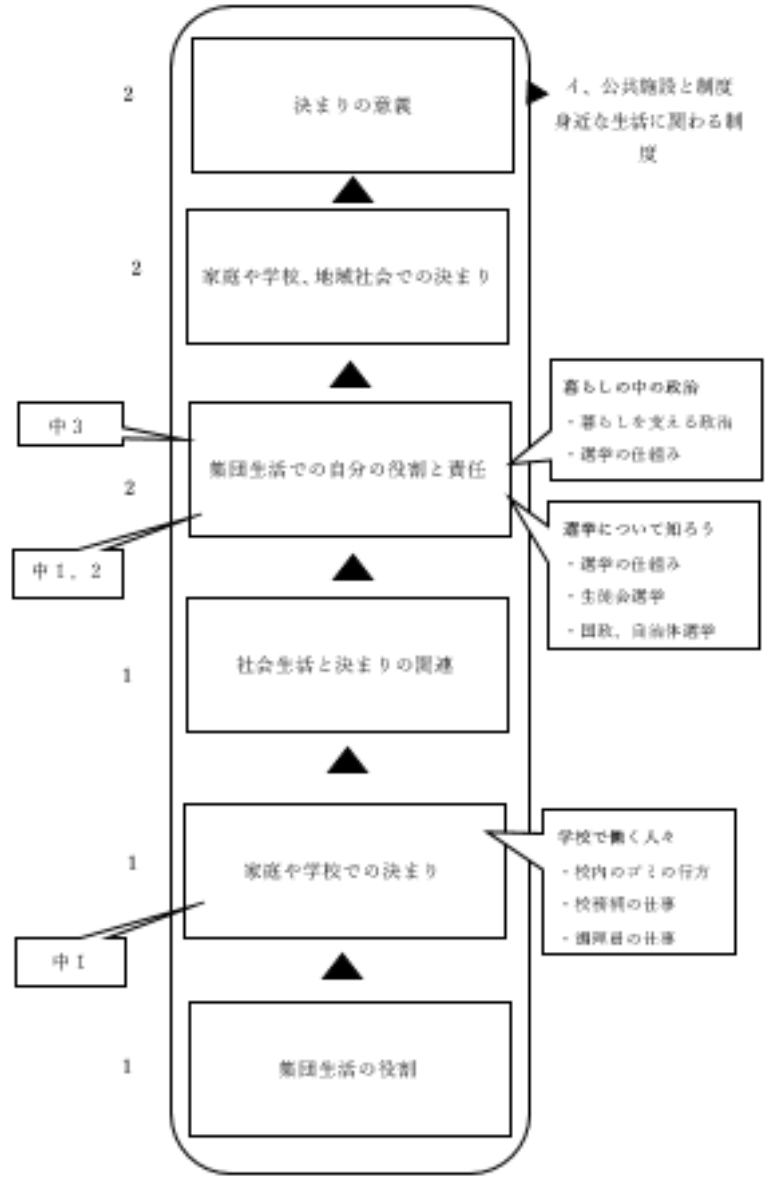
- ものとものとを対応させることによって、ものの個数や多少がわかる。
- 身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現する。

小②
ものの分類

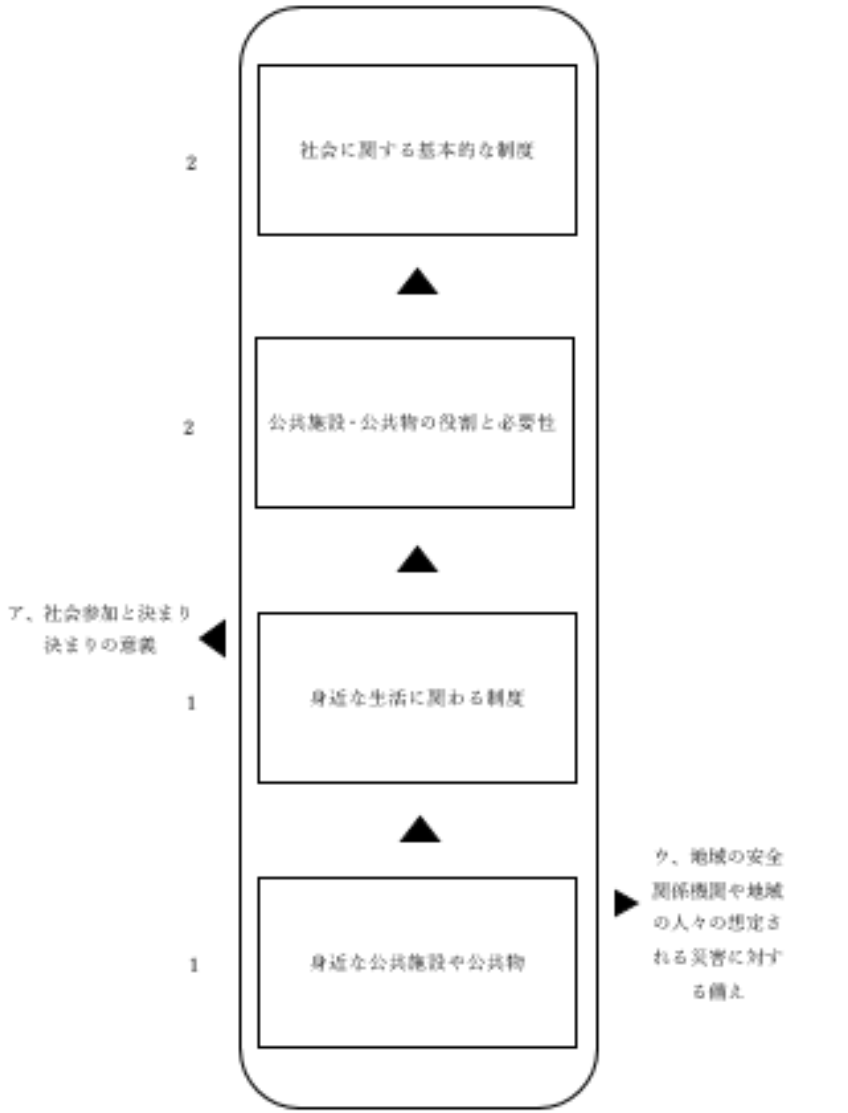
- 身近なものを目的、性質、機能に着目して分類する。
- 身近なものの色や形、大きさ、目的、用途などに関心を持ち、共通点や相違点を見つけながら、着眼を持って分類する。

社会科

ア、社会参加と決まり

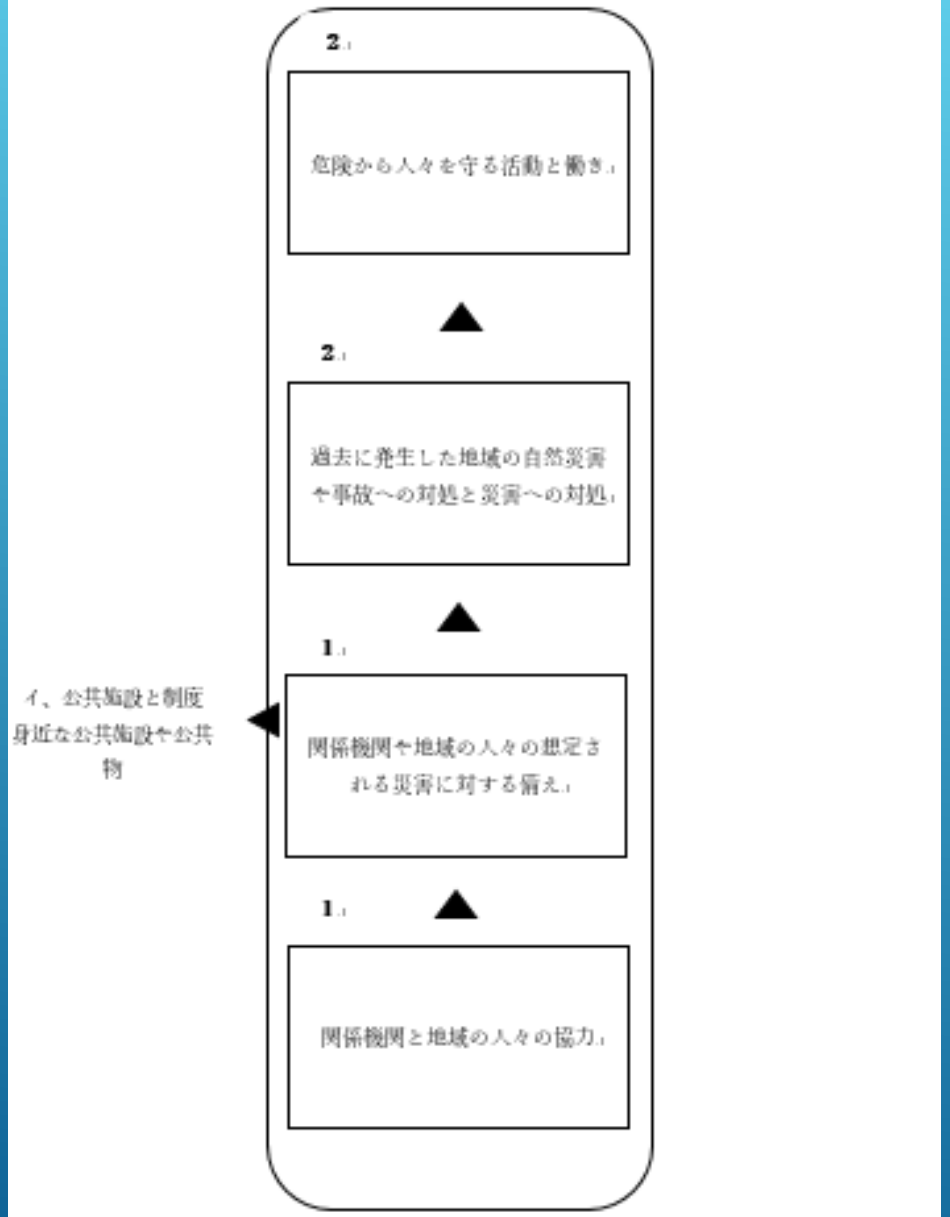


イ、公共施設と制度

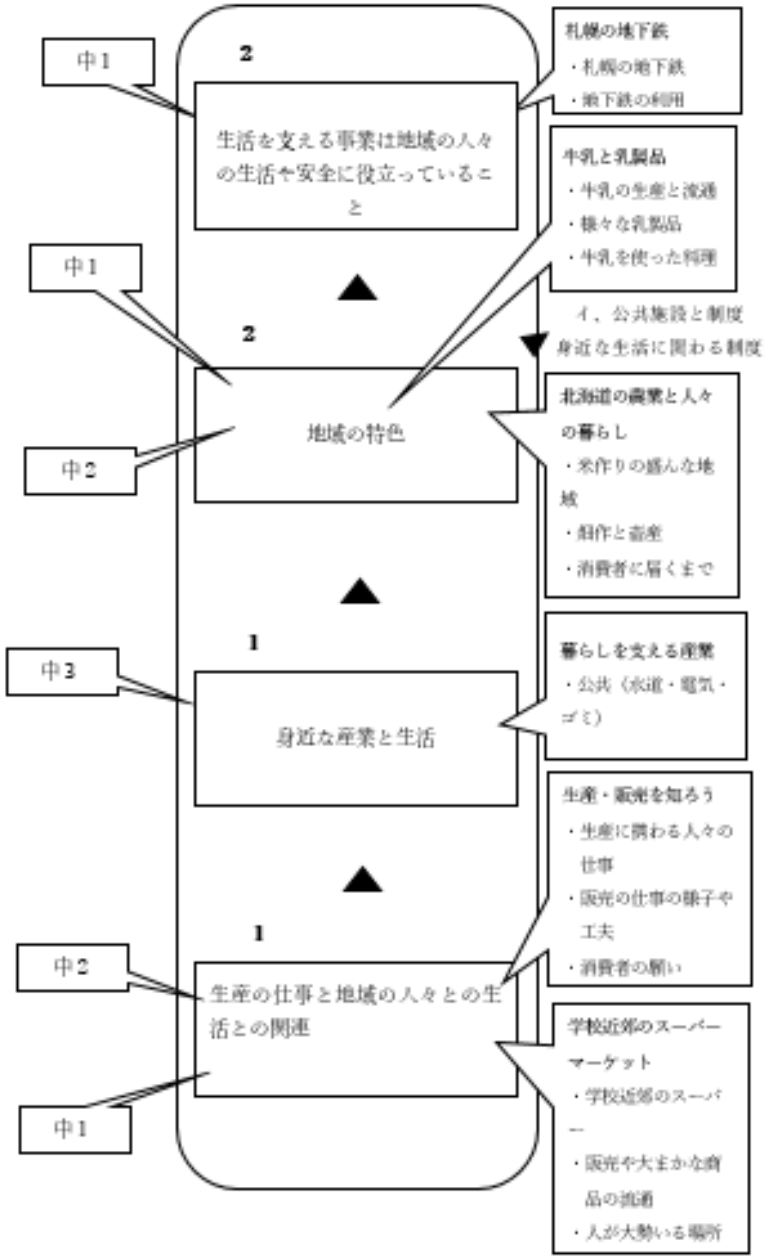


社会科

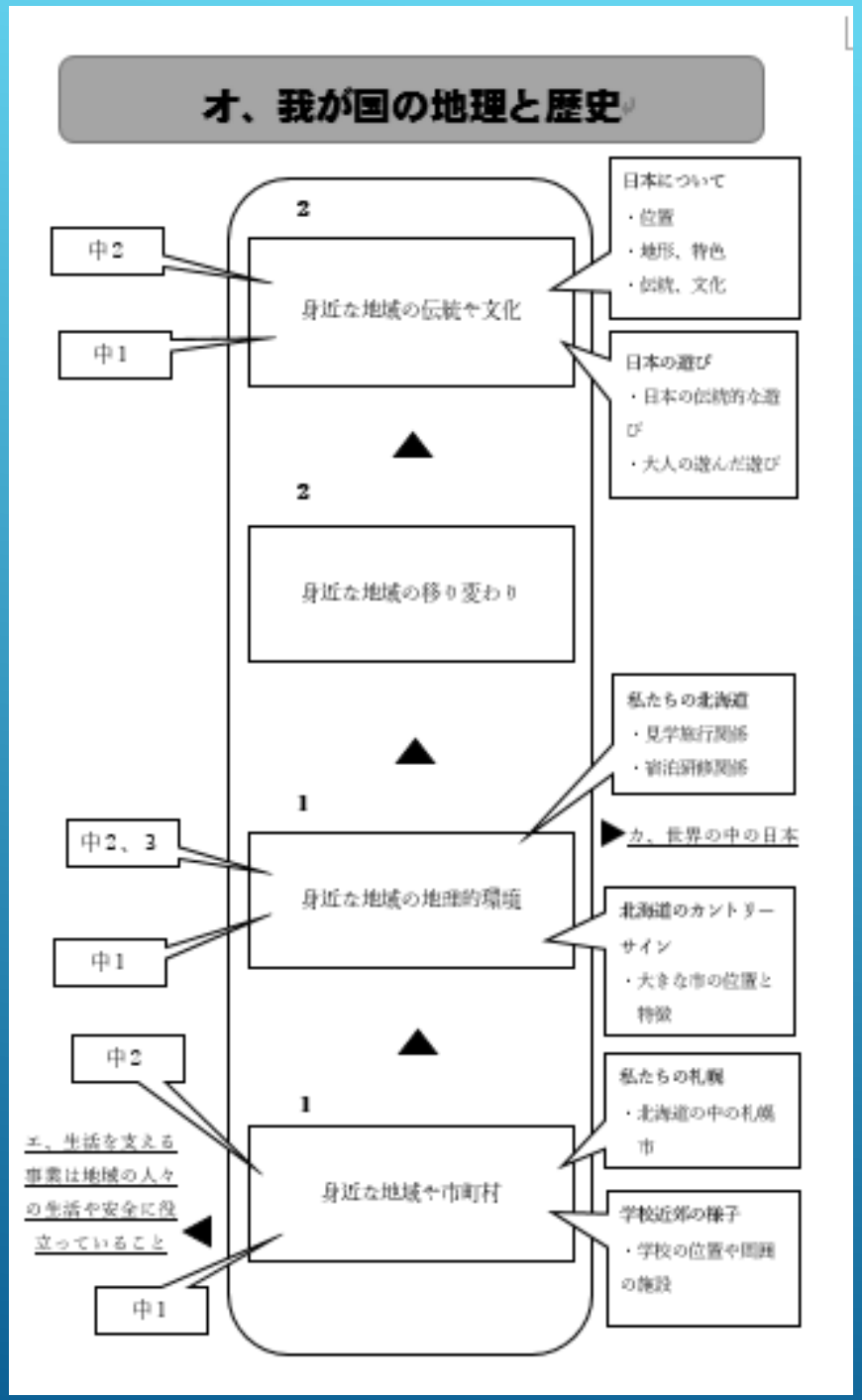
ウ、地域の安全

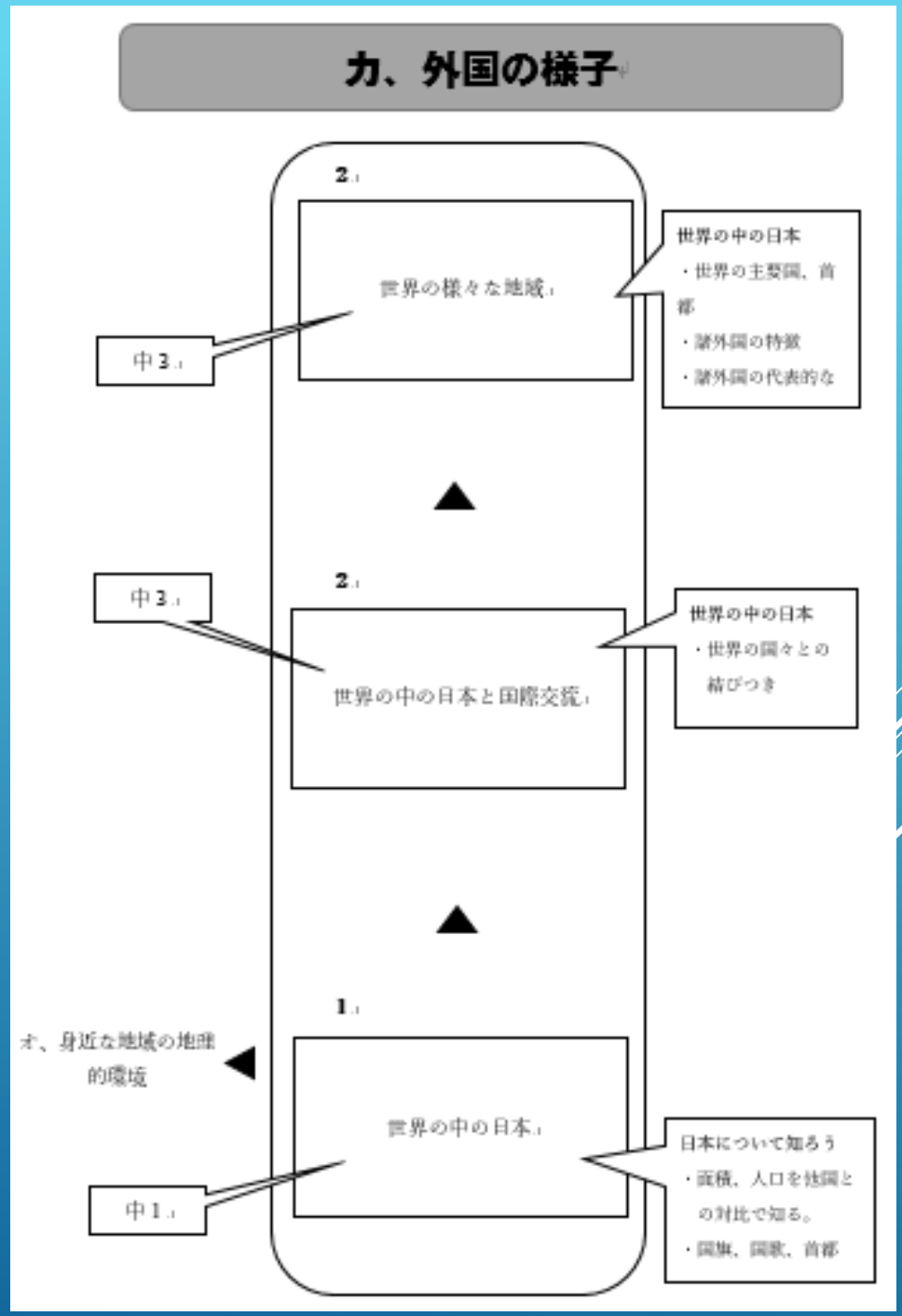


エ、産業と生活



社会科


オ、我が国の地理と歴史
2
身近な地域の伝統や文化
日本について
・位置
・地形、特色
・伝統、文化
日本の遊び
・日本の伝統的な遊び
・大人の遊んだ遊び
中2
中1
2
身近な地域の移り変わり
1
身近な地域の地理的環境
私たちの北海道
・見学旅行関係
・宿泊研修関係
カ、世界の中の日本
北海道のカントリーサイン
・大きな市の位置と特徴
中2、3
中1
1
身近な地域や市町村
私たちの札幌
・北海道の中の札幌市
学校近郊の様子
・学校の位置や周囲の施設
中2
エ、生活を支える事業は地域の人々の生活や安全に役立っていること
中1


カ、外国の様子
2
世界の様々な地域
世界の中の日本
・世界の主要国、首都
・諸外国の特徴
・諸外国の代表的な
中3
2
世界の中の日本と国際交流
世界の中の日本
・世界の国々との結びつき
中3
1
世界の中の日本
日本について知ろう
・面積、人口を他国との対比で知る。
・国旗、国歌、首都
オ、身近な地域の地理的環境
中1

理科

学部	段階	キーワード	A　生命				
			身の回りの生物		季節と生物		人のからだのつくりと運動
小学部	1段階	【自然】　【生き物】 【生命】　【重さ】 【関心】　【気づき】 【伝える】	校舎周辺の自然（虫、樹木、花など）に気付く 校舎周辺の自然に関心をもつ				
	2段階	【飼育】　【天候の変化】　【季節の特徴】 【風・ゴム】　【磁石】 【表現】	身近な生き物を飼育、観察する中で、簡単な特徴や変化がわかり、表現しようとする		四季の大まかな特徴がわかる		
	3段階	【飼育】　【栽培】 【四季】　【天体】 【光・音】　【電気】 【調べる】	身近にいる昆虫、魚、小鳥の飼育や草花などの栽培をする中で、簡単な特徴や変化がわかり、調べたり、表現したりする		四季の変化について、飼育や栽培と関連させて調べたり、表現したりする		

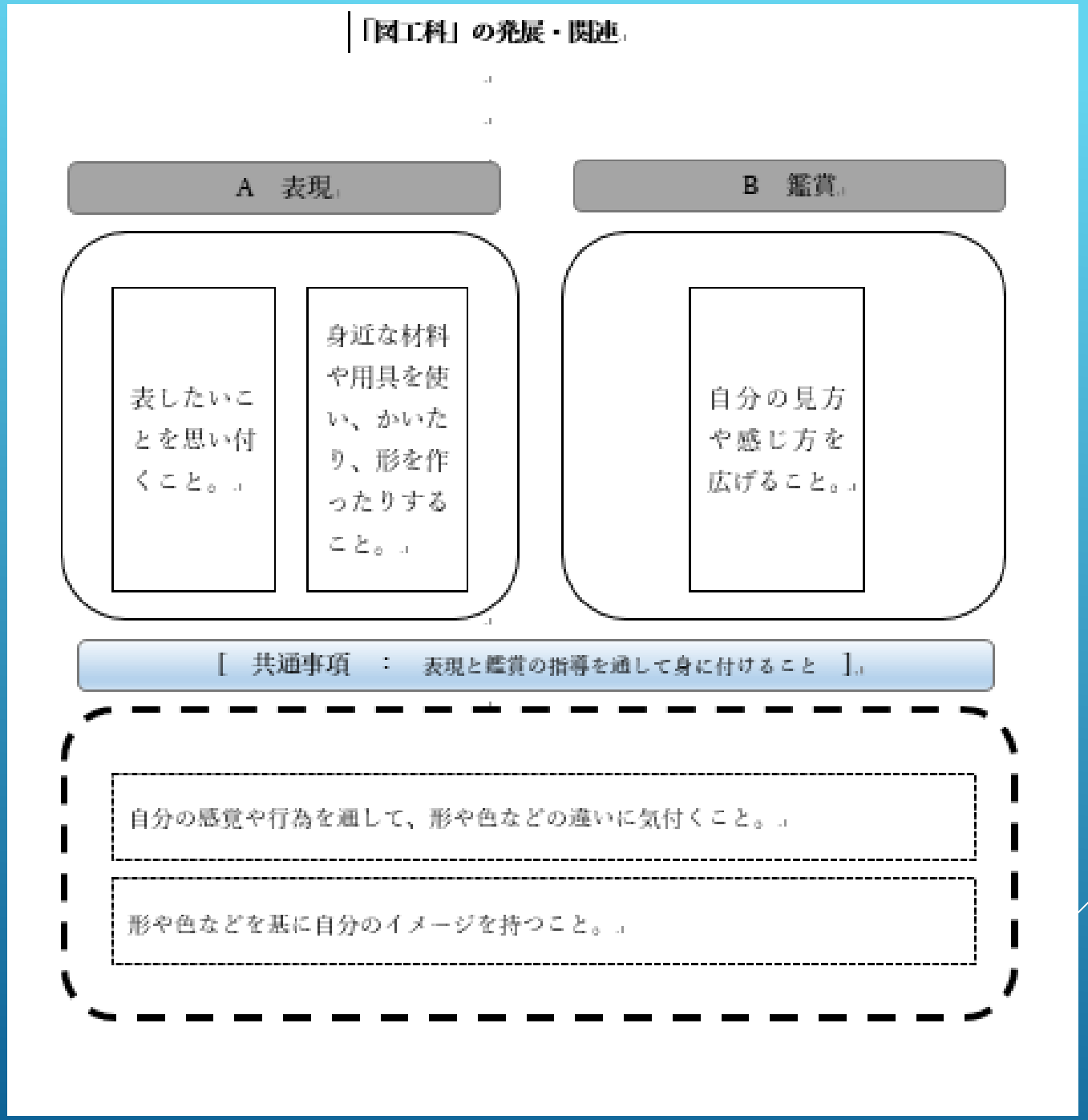
理科

学部	段階	キーワード	A　生命			B　地球・自然				C　物質・エネルギー					
			身の回りの生物	季節と生物	人のからだのつくりと運動	天気の様子	月と星	太陽と地面の様子	雨水の行方と地面の様子	物の重さ	風やゴムの力と働き	光や音の性質	磁石の性質	電気の通り道	水や空気と温度
小学部	1段階	【自然】　【生き物】 【生命】　【重さ】 【関心】　【気づき】 【伝える】	校舎周辺の自然（虫、樹木、花など）に気付く 校舎周辺の自然に関心をもつ							物の重さに気づく					
	2段階	【飼育】　【天候の変化】 【季節の特徴】 【風・ゴム】　【磁石】 【表現】	身近な生き物を飼育、観察する中で、簡単な特徴や変化がわかり、表現しようとする	四季の大まかな特徴がわかる		晴、曇り、雨、雪がわかる				身近にあるものの仕組みや働きがわかり、それらを表現しようとする 身近にあるものの仕組みや働きについて知る					
	3段階	【飼育】　【栽培】 【四季】　【天体】 【光・音】　【電気】 【調べる】	身近にいる昆虫、魚、小鳥の飼育や草花などの栽培をする中で、簡単な特徴や変化がわかり、調べたり、表現したりする	四季の変化について、飼育や栽培と関連させて調べたり、表現したりする		四季とも関連した、天気の大まかな特徴や変化について調べたり表現したりする	晴れた夜には月や星が出ていることがわかる			日常生活の中で、ものの仕組みや働きがわかりそれらを表現しようとする ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べる					
	実験、観察の初歩的技能（虫眼鏡　顕微鏡　観察の視点と記録のつけ方　気温の測り方　各種実験器具の安全で正しい使い方　など）														
	1段階	【見通し】　【経験】 【仮説】　【比較】　【条件】　【共通点】	生物の姿の違い 色、形、大きさなど					日陰は太陽の光を遮ることできること		物は、形が変わっても重さが変わらないこと	風の力は、物を動かすことができること。また、風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わること。	日光は直進すること	磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること	電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があること	
			昆虫の育ち方の順序（飼育）					地面は太陽によって暖められること（太陽の位置は、東から南、西へ変化することも扱う）		物は、体積が同じでも重さは違うことがあること	ゴムの力は、物を動かすことができること。また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わること。	物に日光をあてると、物の明るさや暖かさが変わること	磁石の異極は引き合い、同極は退け合うこと	電気を通すものと通さないものがあること	

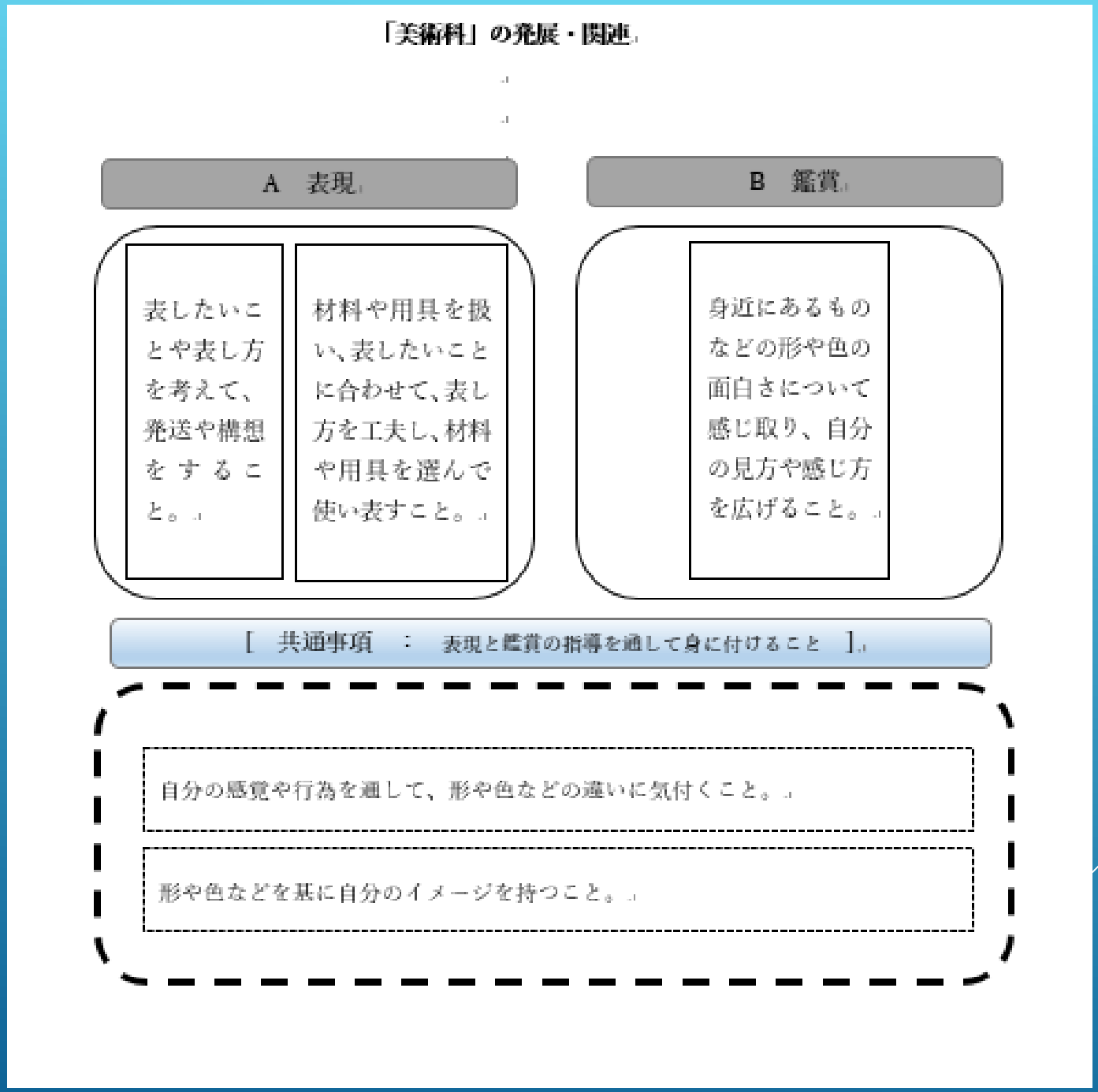
理科

中学部	実験、観察の初歩的技能（虫眼鏡　顕微鏡　観察の視点と記録のつけ方　気温の測り方　各種実験器具の安全で正しい使い方　など）														
	1段階	【見通し】　【疑問】【仮説】　【比較】　【差異】　【共通点】	生物の姿の違い 色、形、大きさなど					日陰は太陽の光を遮るとできること		物は、形が変わっても重さが変わらないこと	風の力は、物を動かすことができること。また、風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わること。	日光は直進すること	磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること	電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があること	
			昆虫の育ち方の順序（飼育）					地面は太陽によって暖められること（太陽の位置は、東から南、西へ変化することも扱う）		物は、体積が同じでも重さは違うことがあること	ゴムの力は、物を動かすことができること。また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わること。	物に日光をあてると、物の明るさや暖かさが変わること	磁石の異極は引き合い、同極は退け合うこと	電気を通すものと通さないものがあること	
			植物の育ち方の順序（栽培・夏生一年生双子葉植物）					日向と日陰では温度に違いがあること				物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていること			
	2段階	【予想】　【実生活への活用】		季節による動物の活動の違い	人の体のつくり 骨と筋肉があること	天気と一日の気温の変化の違い（二つのデータを同時に扱うようなグラフや表は使わない）	月は日によって形が変わって見えること 月の満ち欠け		水は高いところから低いところへ流れて集まること						水や空気は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わること
				季節による植物の活動の違い	人体が動くのは骨と筋肉の働きによること（関節の働きを扱う）	水は水面や地面から蒸発すること	月は一日のうちでも時刻によって位置が変わること		水のしみこみ方は土の粒の大きさによる違いがあること						水は、温度によって水蒸気や水に変わること
						水は水蒸気となって空気中に含まれること	空には、明るさや色の違う星があること								

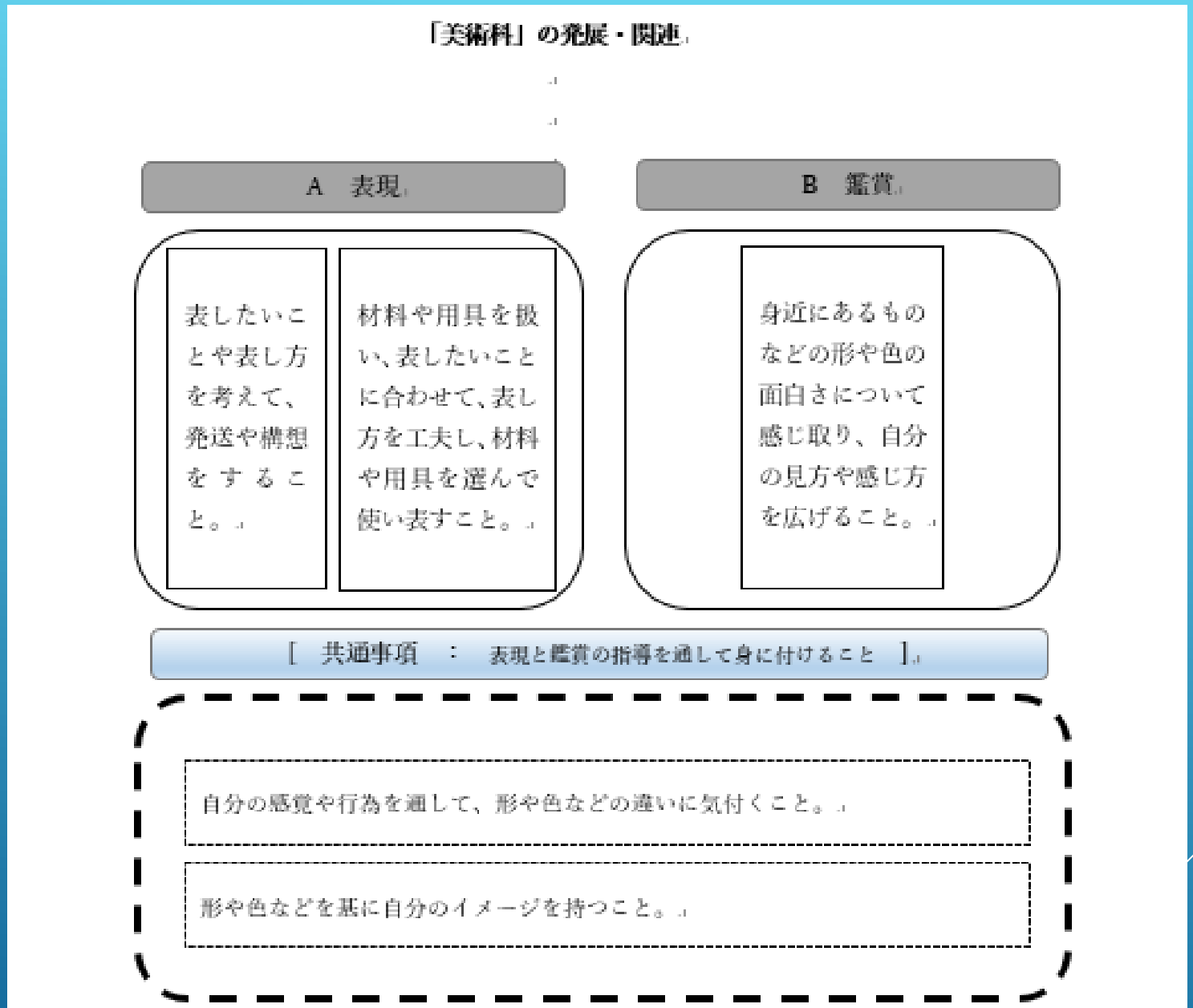
図画工作
美術


「図工科」の発展・関連
A　表現
B　鑑賞
表したいことを思い付くこと。
身近な材料や用具を使い、かいたり、形を作ったりすること。
自分の見方や感じ方を広げること。
[　共通事項　：　表現と鑑賞の指導を通して身に付けること　]
自分の感覚や行為を通して、形や色などの違いに気付くこと。
形や色などを基に自分のイメージを持つこと。

図画工作
美術

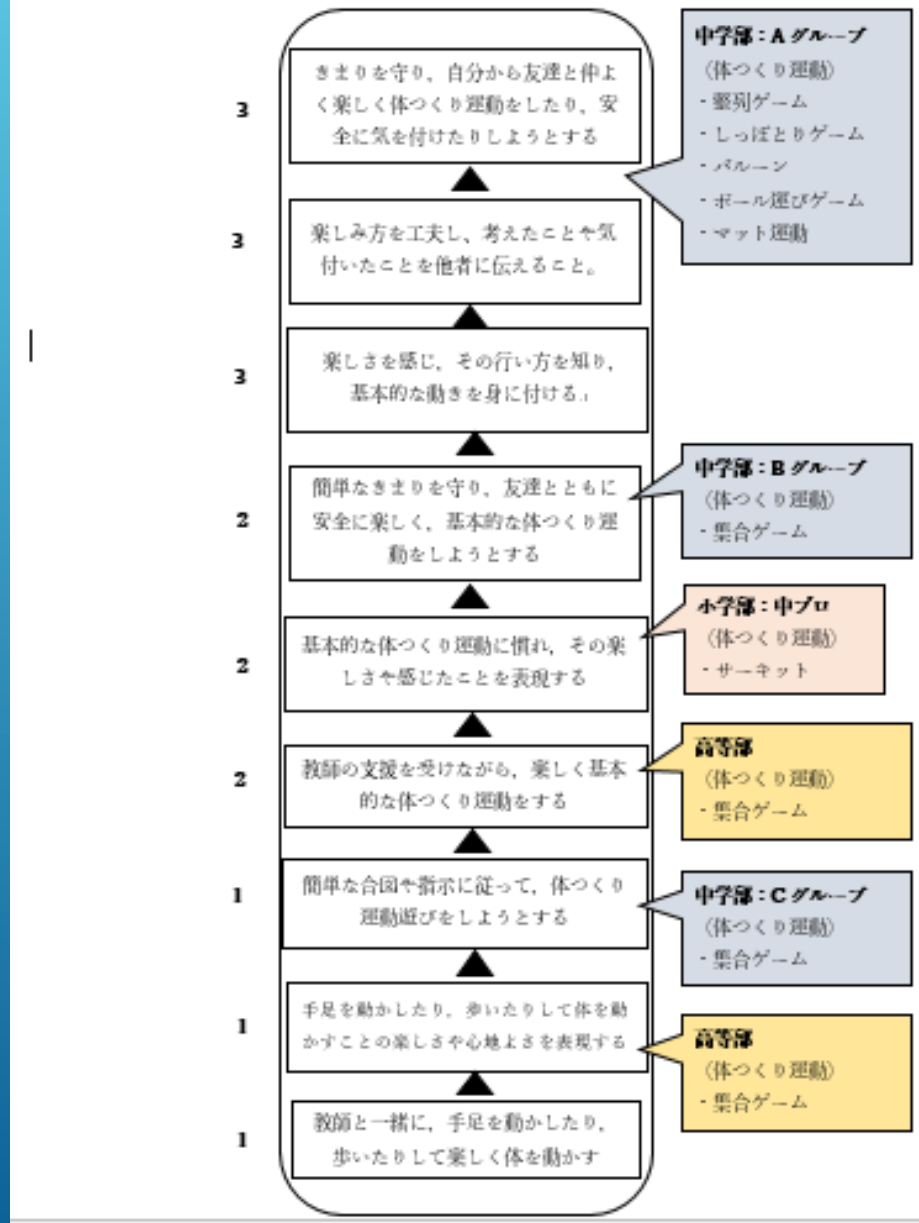

「美術科」の発展・関連
A　表現
B　鑑賞
表したいことや表し方を考えて、発送や構想をすること。
材料や用具を扱い、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。
身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。
[　共通事項　：　表現と鑑賞の指導を通して身に付けること　]
自分の感覚や行為を通して、形や色などの違いに気付くこと。
形や色などを基に自分のイメージを持つこと。

図画工作
美術

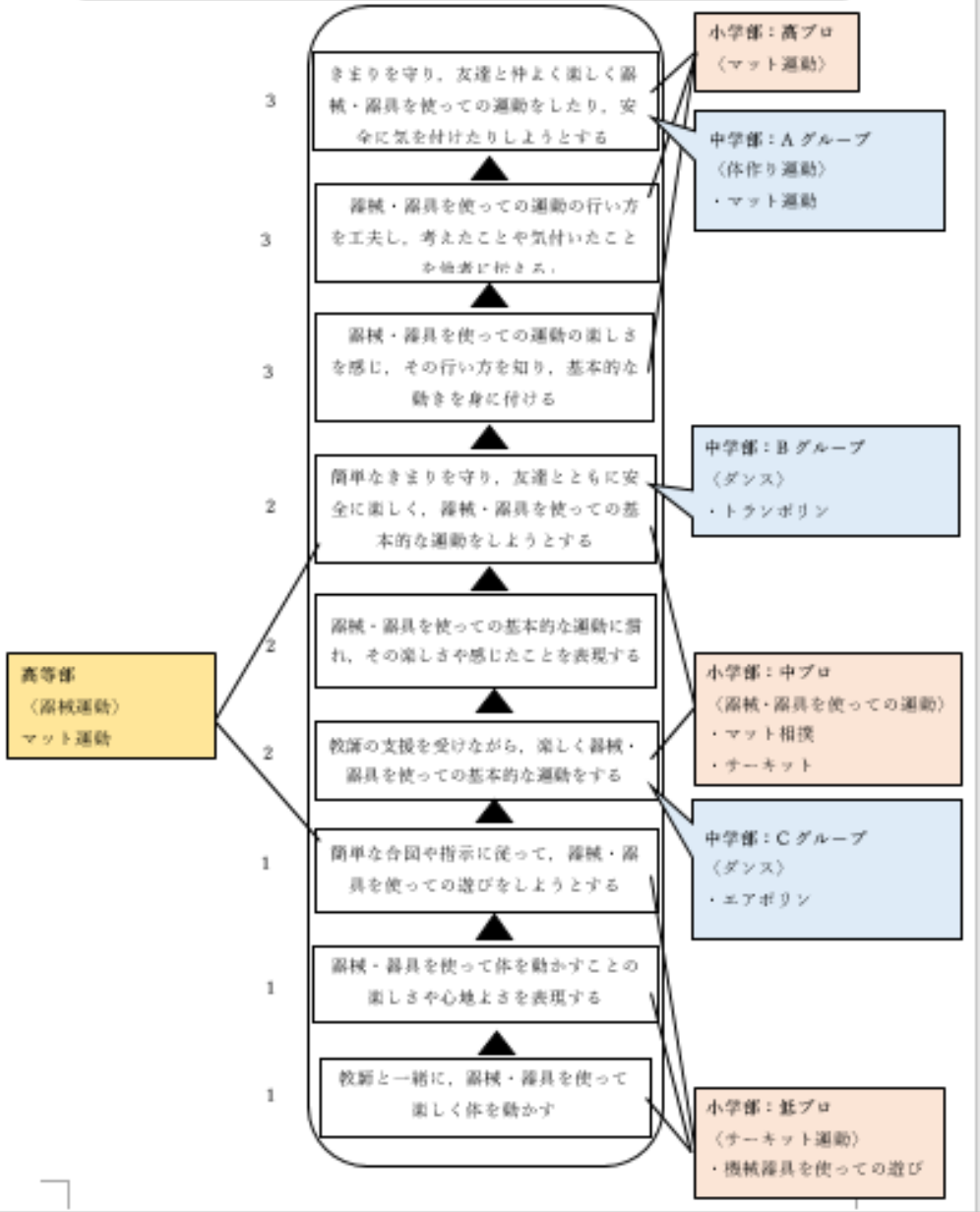

「美術科」の発展・関連
A　表現
B　鑑賞
表したいことや表し方を考えて、発送や構想をすること。
材料や用具を扱い、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。
身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。
[　共通事項　：　表現と鑑賞の指導を通して身に付けること　]
自分の感覚や行為を通して、形や色などの違いに気付くこと。
形や色などを基に自分のイメージを持つこと。

体　育

A、からだ作り運動遊び（１段階）、からだ作り運動（小２、３段階）

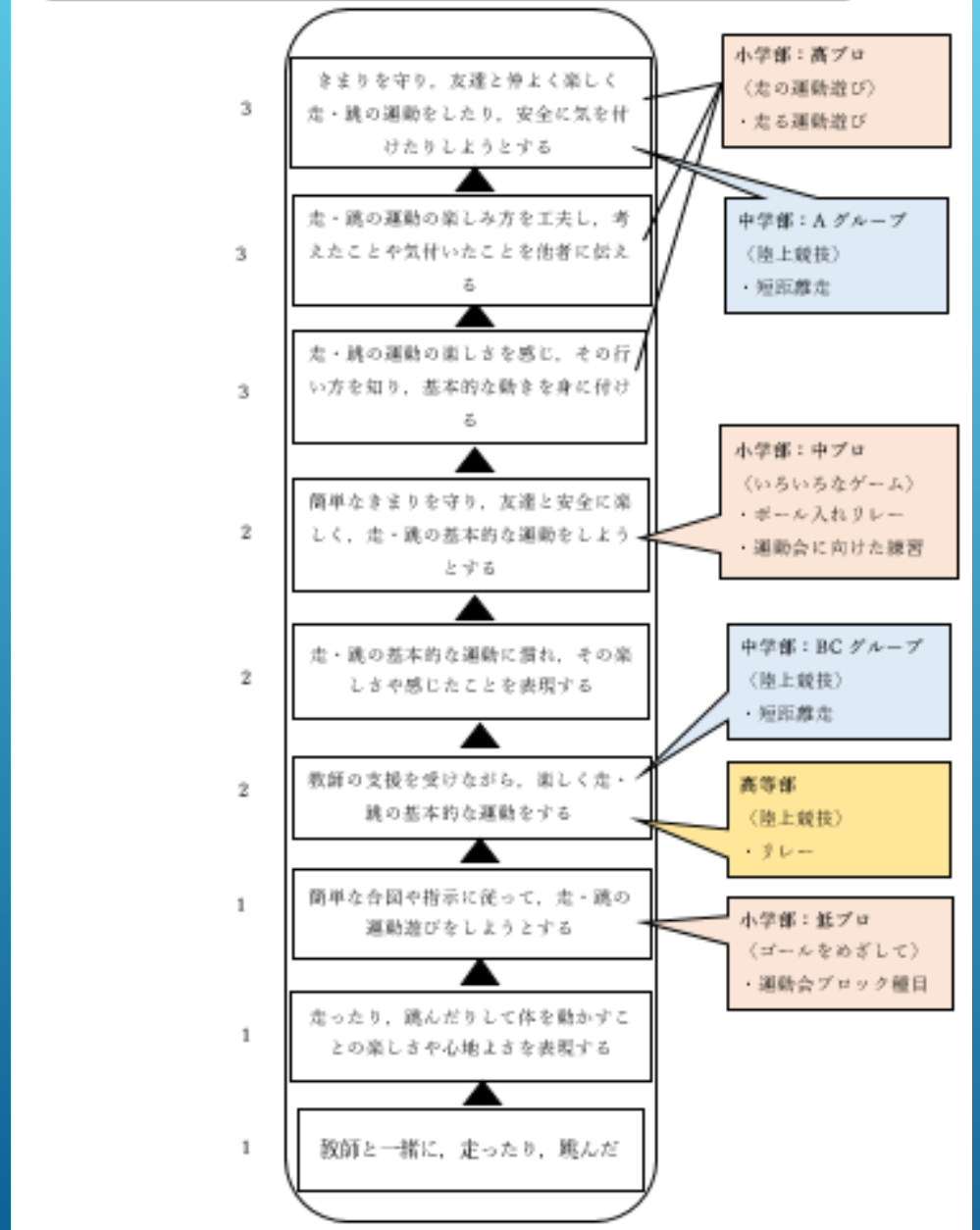


B、器械・器具を使っての遊び（１段階）、器械・器具を使っての運動（２、３段階）

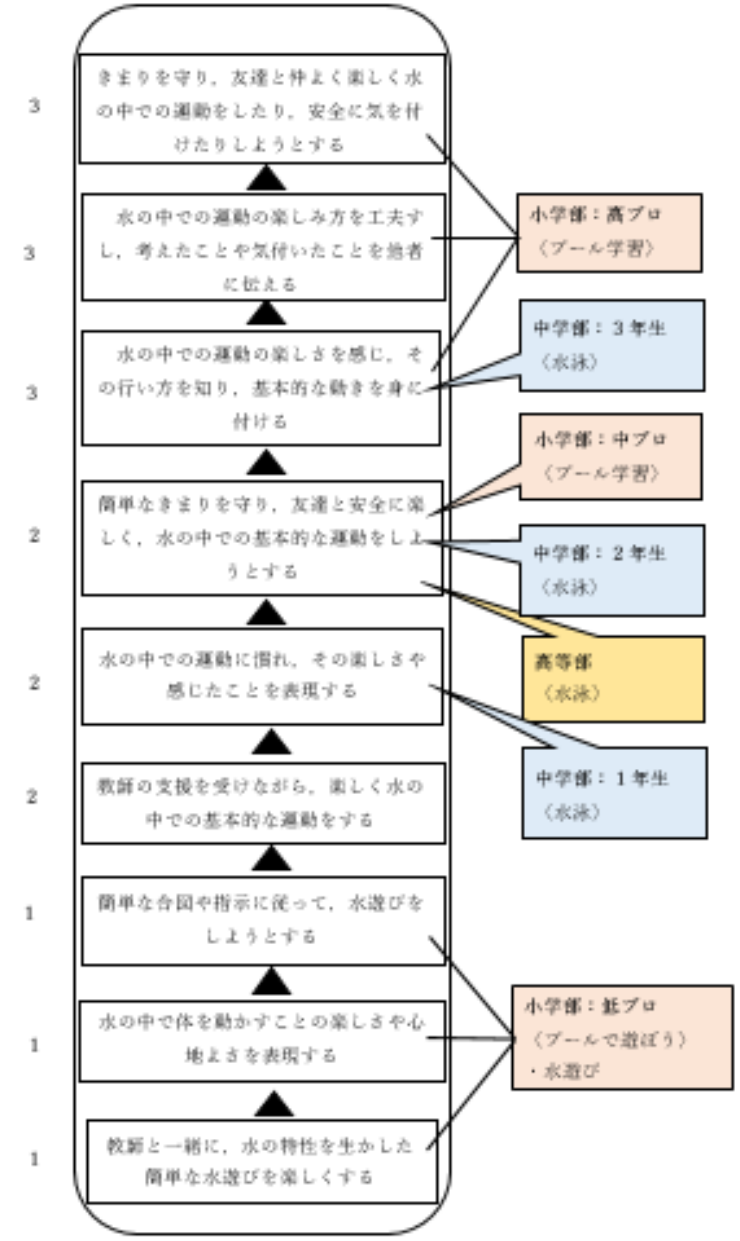


体　育

C、走・跳の運動遊び（１段階）、走・跳の運動（２，３段階）

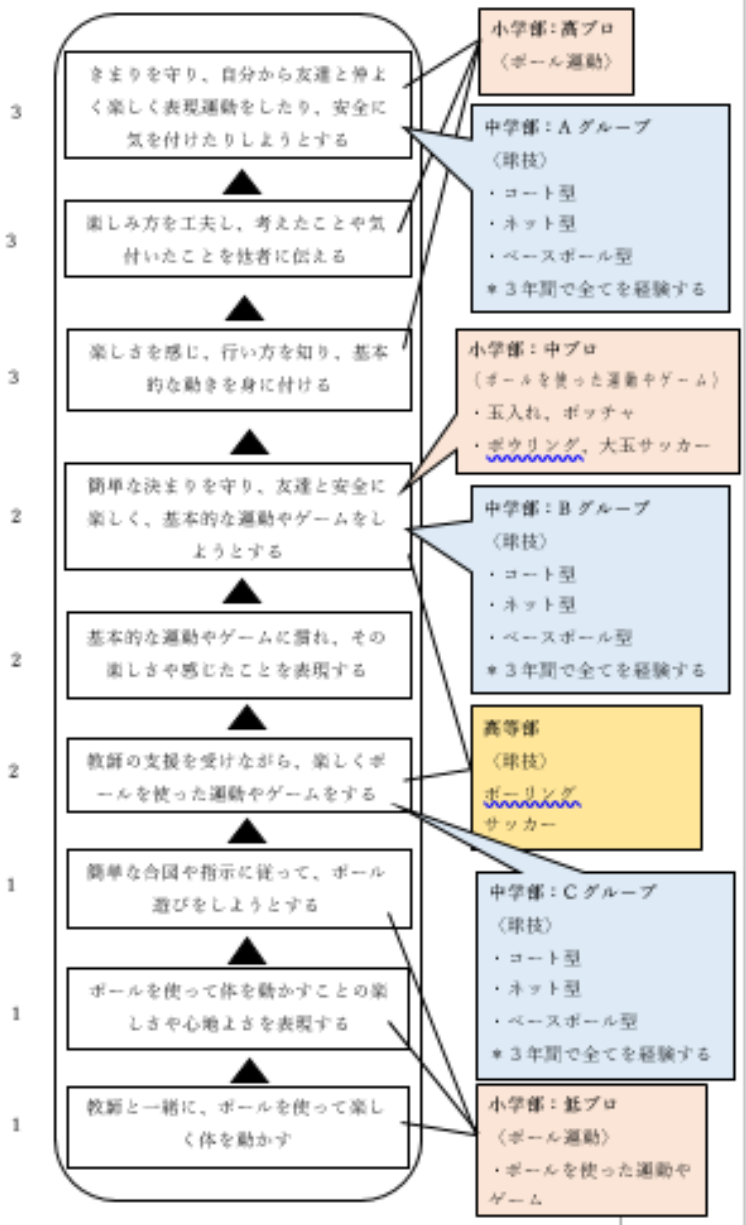


D、水遊び（１段階）、水の中での運動（２，３段階）

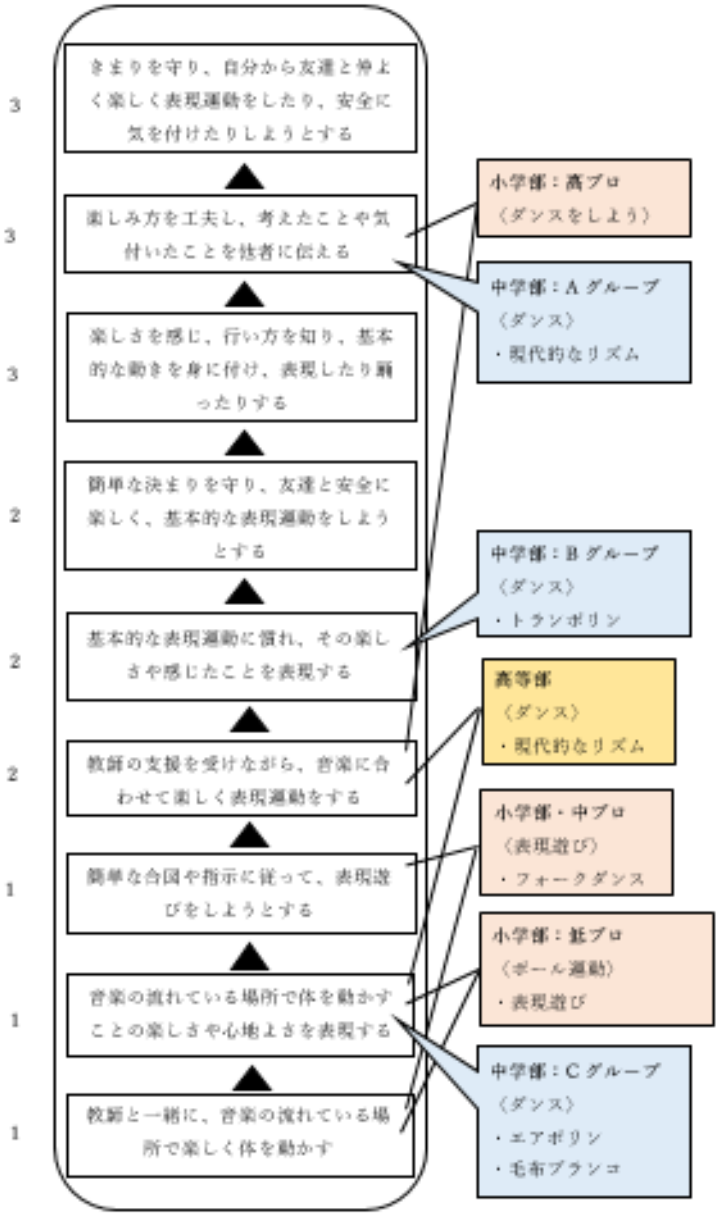


体　育

E　ボール遊び（1段階），ボールを使った運動やゲーム（2，3段階）

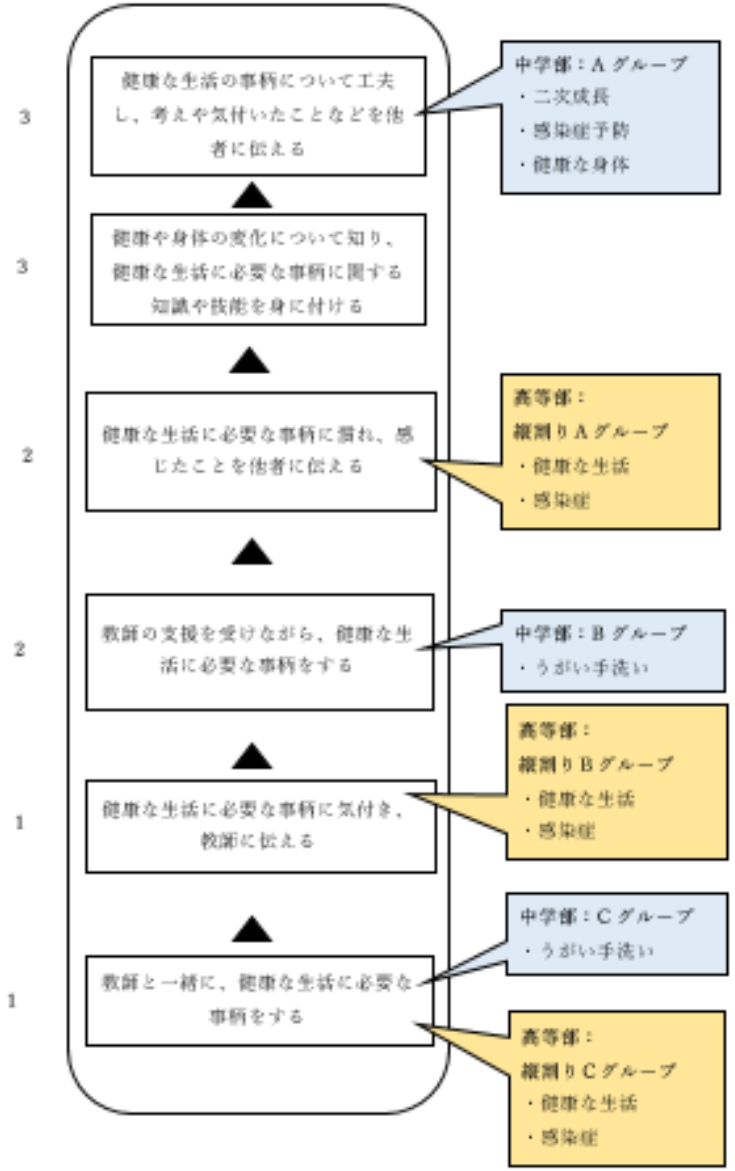


F　表現遊び（1段階），表現運動（2，3段階）



体　育

G　保健


3
健康な生活の事柄について工夫し，考えや気付いたことなどを他者に伝える
中学部：Aグループ
・二次成長
・感染症予防
・健康な身体
3
健康や身体の変化について知り，健康な生活に必要な事柄に関する知識や技能を身に付ける
2
健康な生活に必要な事柄に慣れ，感じたことを他者に伝える
高等部：
複割りAグループ
・健康な生活
・感染症
2
教師の支援を受けながら，健康な生活に必要な事柄をする
中学部：Bグループ
・うがい手洗い
1
健康な生活に必要な事柄に気付き，教師に伝える
高等部：
複割りBグループ
・健康な生活
・感染症
1
教師と一緒に，健康な生活に必要な事柄をする
中学部：Cグループ
・うがい手洗い
高等部：
複割りCグループ
・健康な生活
・感染症